

〈 おうしゅう動画コンクール 〉  
**ラブふる奥州**  
 Love full Oshu  
**作品募集** MOVIE  
 応募期間 2021年 9/10(金) ▶ 11/14(日)

★募集テーマ

「私が伝えたい『ラブふる』な奥州市」

コロナ禍の生活の中で生活は大きく変わってしまいましたが、私たちの奥州市への愛情はずっと変わりません。あなたがほかの人へ伝えたい、愛で溢れる「ふるさと・奥州市」の魅力をPRしてください！

★応募資格

- ▷奥州市にゆかりがある、または魅力を感じる中学生以上29歳以下の人（応募時点）
- ▷グループでの応募も可（グループの場合は代表者1名を決める）
- ▷18歳未満の人は、保護者の同意を得ること

★応募条件

- ▷応募者のオリジナルかつ未発表であること
- ▷動画の編集方法などは自由
- ▷投稿は個人・グループともに1作品まで

★応募規格

- ▷30秒～1分間で、奥州市をPRするもの
- ▷撮影機材や動画の縦横比は自由
- ▷スマホで撮影・編集、そのまま投稿が可能

【表彰】

最優秀賞	1本…クオカード	10万円分
優秀賞	1本…クオカード	5万円分
優良賞	1本…クオカード	3万円分
審査員特別賞	2本…クオカード	5千円分

※応募者には参加賞をお送りします

★応募方法

- 1 奥州市 Instagram (@oshu\_city) をフォロー
  - 2 投稿の際は、動画のタイトル、動画の説明、ハッシュタグ「#ラブふる2021」を必ず付けて投稿
  - 3 市ホームページの動画コンクール応募フォームより必要事項を記入し送信
- ※詳しくは、市ホームページをご覧ください

市ホームページ▶



■問い合わせ 本庁都市プロモーション課広聴広報係 (☎ 34-2126)

令和3年度総会  
 総会では、会長の小沢昌記市長が「ILCは議論が進められて着実に世界における協調がなされ、必ず北上山地への実現に進んでいくと考えている。昨年、東北ILC事業推進センターも立ち上がり地元準備も進んでいる状況。」



ILC実現に向け協議が行われました

市ILC推進連絡協議会は、8月4日に江刺総合支所で令和3年度総会を開催しました。また総会後は、岩手大学理工学部の成田晋也教授をお招きし、「ILC計画と最新の動向について」と題した講演会を行いました。今回はその内容をお知らせします。

ILC講演会  
 総会後の講演会では、岩手の事業報告や本年度の事業計画について議事が行われ、ILC実現に向けた地元活動をより一層推進していくことをあらためて確認しました。

We support the **ilc**  
**希望のひかり**  
 第94回  
 国際リニアコリアイダー(ILC)計画の各種最新情報をお届けします

一刻も早くILCが実現し、東北地方を中心として日本全体に波及する景気回復の原動力となる事業として展開してほしいと考えている」とあいさつ。また、「ILCの研究が人類の抱えるさまざまな課題を解決する糸口になると期待している」と、今後の意気込みを語りました。



岩手大学の成田教授

そのほか加盟団体の昨年度の事業報告や本年度の事業計画について議事が行われ、ILCのた

ILC計画に関する概要や国内外の最新動向、ILCのために推進されている地域の取り組みなどについて分かりやすく解説をいただきました。参加者からはさまざまな質問が出され、とても有意義な講演会となりました。

市では、総会で確認した事業を中心としてILCの情報を広く発信することや、ILCが実現した際の国内外の研究者の受け入れ体制の整備について、より一層力を入れて取り組んでまいります。



【ILC紹介動画】

おうしゅう  
**羅針盤**  
 Oshu



空高くかかる白雲にも、秋の風情が感じられるようになってまいりましたが、いかがお過ごしですか。

8月9日、旧施設の老朽化のため、江刺ターミナルプラザ内に機能を移転した江刺観光物産センター「えさし夢プラザ」の開所式に出席しました。ターミナルプラザ内にあるバスセンターとの相乗効果で交流人口の拡大を図るとともに、蔵まちモール、旧岩谷堂共立病院やえさし藤原の郷など、近隣の観光施設との連携により、市民や市外からの来訪者に、市の魅力を伝えてまいります。

8月20日、県立産業技術短期大学校と、地域連携に関する協定を締結しました。平成2年に県立高度技術専門学院として開校以来、地域のものづくり人材を育成いただいで

いる同校とのパートナーシップをより強固なものとし、それぞれの資源、特性を生かしながら、地域の産業振興や経済の活性化に資する取り組みを進めてまいります。

8月2日、市から県への要望会において、小野寺隆夫市議会議員と共に、佐々木隆興南広域振興局長に要望書を提出いたしました。ILC実現に向けた取り組み、医療の充実・医師確保のほか、過疎地域などへの支援継続を含めた26項目について要望いたしました。今後も県との連携を密にし、各種課題に取り組んでまいります。

同日、本市と災害時の相互応援協定を締結している福岡県大野城市の中学生被災地研修において、市防災担当職員と共に講演しました。新型コロナウイルスの影響により、現地視察ではなくオンラインでの開催となりましたが、東日本大震災時における市の対応や日頃の心構えなどをウェブを通じて伝えました。今後もご縁を大切にしてまいります。

奥州市長 小沢昌記